

令和 3 年 11 月 24 日

亀山市議会議長 中 崎 孝 彦 様

研修報告書

会 派 名	スクラム
報 告 議 員 名	今岡 翔平
参 加 議 員 名	今岡 翔平
研 修 日	5 月 10 日 ～ 5 月 11 日
研 修 目 的 等	第 4 2 回議員の学校 子どもの権利と地方自治体の政策—地方議会の果たすべき役割 講義 1 コロナ禍における学校現場と子どもの権利 講義 2 コロナ禍でみえた保育園をめぐる自治体の動き 講義 3 「コロナ禍で見えた学童保育（放課後児童クラブ）の現 状と課題」 講義 4 子どもの権利の歩みと地方自治体の政策の発展
研修の概要	<p>新型コロナウイルス感染拡大の状況下における学校現場、保育園、学童保育の実例を通し、子どもの権利を地方自治体が保障することの重要性とその上で地方議会が果たさなくてはならない役割について考察する研修。</p> <p>【所感】 2020年2月、当時の安倍首相により一斉休校が要請され全国の学校現場はそれに従わざるを得ない状況になった。私も要請に違和感を覚えたが、研修の中で「子どもたちの権利」について丁寧に解説がされており、やはり手順としてはよくなかったのである。子どもたちの意見を聞いた上での一斉休校でなかったこと、一斉休校の要請の基準があいまいなままであった点などである。その他の事例においても、自分たちの周りでも一見当たり前に行われていることが子どもを主体に考えると疑問が多く残ることがわかった。</p> <p>また保育園や学童保育についても一斉休校が要請された際に安倍前首相から運営するようという通達があった。感染対策という点では学校よりも1人あたりのスペースが小さい施設の方を開けなさいというのは矛盾があるし、行政の各機関との連携も難しかったのは亀山市でも直面した課題が挙げられていた。十分に整備や支援がされないまま、急な時だけお願いしますと言っても無理なことが浮き彫りになった。</p> <p>以上のように、「子どもの権利」に関する研修ではあったが実例を通じて非常に論理的に構築されている研修が多く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況下で「未曾有の危機」とはいえ、政府からのトップダウンが正しいのかそうでないのかしっかり考えられる機会となった。やはり一番弱い立場となってしまう子どもたちのことを考えて物事を進めるためにも本市においても子どもの権利条例制定の必要性を実感した。</p>

【所感】

2020年2月、当時の安倍首相により一斉休校が要請され全国の学校現場はそれに従わざるを得ない状況になった。私も要請に違和感を覚えたが、研修の中で「子どもたちの権利」について丁寧に解説がされており、やはり手順としてはよくなかったのである。子どもたちの意見を聞いた上での一斉休校でなかったこと、一斉休校の要請の基準があいまいなままであった点などである。その他の事例においても、自分たちの周りでも一見当たり前に行われていることが子どもを主体に考えると疑問が多く残ることがわかった。

また保育園や学童保育についても一斉休校が要請された際に安倍前首相から運営するようという通達があった。感染対策という点では学校よりも1人あたりのスペースが小さい施設の方を開けなさいというのは矛盾があるし、行政の各機関との連携も難しかったのは亀山市でも直面した課題が挙げられていた。十分に整備や支援がされないまま、急な時だけお願いしますと言っても無理なことが浮き彫りになった。

以上のように、「子どもの権利」に関する研修ではあったが実例を通じて非常に論理的に構築されている研修が多く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況下で「未曾有の危機」とはいえ、政府からのトップダウンが正しいのかそうでないのかしっかり考えられる機会となった。やはり一番弱い立場となってしまう子どもたちのことを考えて物事を進めるためにも本市においても子どもの権利条例の制定が必要を実感した。